

しなののうた

バス事故に若き命の幾多散る花束覆う雪のしろじろ



杉田小百合

しなののうた

大寒の夜に吹雪が戸をたたき影映るるは雪女めく

杉田小百合



しなののうた

はまぐりがぱかっ  
と口開け葱茸賑賑  
おどる寄せ鍋のなか



杉田小百合

しなののうた

爛酒に心打ち明け  
厳寒を寄せ鍋つつき  
一日の足るる

杉田小百合



しなののうた

凍みる朝ガラス戸一面模様して自然織りなす美に魅せられり



杉田小百合